

4 第4学年 異文化交流 Let's Play "Hanetsuki"!!

教育学研究科 学習科学専攻 カリキュラム開発専修 藤本 翔子

1 はじめに

わたしがこの体験型海外教育実地研究に参加したのは、もともと海外への興味が強かったこと、また、外国の学校で授業をさせていただけるこのような貴重な機会を逃すわけにはいかならぬと感じたからである。

また、小学校にも外国語活動が取り入れられたこともあり、このような体験をしておくことは、有益なものとなるであろうと感じた。そして、将来小学校の教員になったときに、この経験を通して感じたこと、学んだことを子どもたちに伝えていきたいと考えた。

2 実地研究の日程と概要

月日	Transportation	Activities	Lodging
4/22(木)	渡航までの日程確認 パスポート確認 ESTA・保険の確認 5/13、23の紹介と確認 授業研究テーマの設定方法		
5/13(木)	Culture and Pedagogy: Bushido, Sado, Kado, Is there a way of education?		
5/23(日)	J・タッカー先生、ECU 学生案内 広島駅→平和公園・宮島→広島駅		
5/27(木)	ホテル部屋割り 授業研究テーマ案の交流		
6/17(木)	学習指導案の検討		
7/15(木)	学習指導案の検討 渡航のための諸手続き		
7/17(土)	第6回学校間交流国際フォーラム		
7/18(日)	2010 体験型海外教育実地研究授業研究ワークショップ 2010 体験型海外教育実地研究発表会		
8/27(金)	学習指導案の検討および教材・教具の作成 渡航のための諸手続き		
9/2(木)	渡航準備 直前打ち合わせ 報告書作成および発表会の打ち合わせ		
Sep 11(Sat)	Hiroshima 0745-0925 Narita (NH-3128) Narita 1105-1040 Washington Dulles (NH-2) Washington Dulles 1235-1340 Raleigh (NH-7144) RDU Airport→City Hotel & Bistro Transportation: Dr. John Tucker is arranging vehicles and drivers for us.		City Hotel & Bistro 203 W. Greenville Blvd, Greenville, NC 27834 Tel: 877-271-2616 Greenville
12(Sun)	Transportation: Dr. Sandra Warren will arrange the transportation for us.	Preparation of Lessons 3:45 pm pick-up from hotel to go to Pot Luck Pitt Pickin and meeting with school representatives	Greenville

13(Mon)	<p>City Hotel → Each School</p> <p>Transportation: Dr. Sandra Warren will arrange the transportation for us.</p>	<p>School Visit Wahl-Coates E.S. (K-5) Observation/Teaching</p> <p>Dinner: Hibachi Grill & Supreme Buffet at 5:30 pm – (3427 S. Memorial Drive)</p> <p>Kobara and Matsumiya will attend the welcome dinner of ECU Education Abroad Fair–pick-up from hotel at 6:15 pm</p>	Greenville
14(Tue)	<p>City Hotel → Each School</p> <p>Transportation: Dr. Sandra Warren will arrange the transportation for us.</p>	<p>Morning: School Visit Observation/Teaching</p> <p>Afternoon: ECU Teacher Resource Center, ECU Bookstore, Bender-Burkot Store</p> <p>Kobara and Matsumiya will attend the ECU Education Abroad Fair (1:00 pm – 3:00 pm)</p> <p>Dinner at 6:40 pm: McAllister's Deil. (740 Greenville Blvd SE)</p>	Greenville
15(Wed)	<p>City Hotel → St. Peter's Catholic School → Clarion State Capital</p>	<p>Morning: School Visit St. Peter's Catholic School. They will be happy to</p>	<p>Clarion State Capital 320 Hillsborough St. Raleigh, NC Tel: 919-832-0501</p>

	Transportation; Dr. John Tucker is arranging vehicles and drivers for us.	have you visit on Sept. 15. http://www.stpeterscatholicsschool.com/	Fax; 919-833-1631
16(Thu)	Transportation; On foot	School Visit *9:00 am; Exploris M.S. *11:00; Museum Visit North Carolina Natural Science Museum	Raleigh
17(Fri)	Hotel → RDU; Taxi Raleigh 1025-1130 Washington Dulles (NH-7145) Airport → Hotel; Taxi	Traveling to Washington DC Study on the American Culture	Washington Plaza 10 Thomas Circle、 N.W. Washington、DC 20005 Tel; 202-842-1300 800-424-1140 Fax; 202-371-9602 Washington DC
18(Sat)	Transportation; Subway	Study on the American Culture at Historical Place	Washington DC
19(Sun) 20(Mon)	Hotel → Airport ; Taxi Washington Dulles 1220-1525 Narita (NH-1) Narita 1750-1925 Hiroshima (NH-3129)		

3 実地研究授業

3. 1 単元名 第学年 異文化交流「Let's play "Hanetsuki"!!!」

3. 2 事前準備

① 単元設定の理由

日本の伝統文化のひとつであるはねつきを知ることによって、他国の伝統文化に興味をもち、同時に自国の伝統文化についても考えるきっかけにしたいと考えた。また、日本の伝統行事にはさまざまな意味があり、また願いがこめられているのだが、それが子どもの成長や無病息災を願うものも多く、外国の子どもたちにもわかりやすいと考えた。さらに、子どもたちが興味を持ちやすいように、小学生でも楽しく活動することのできる羽根つきを選択した。

② 準備物

みんなが遊べるよう、一人に一枚ずつ羽子板を準備した。また、子どもたち一人ひとりにオリジナルなものを作ってもらいたいと考えたので、無地で絵が描けるようなものにした。さらに、ペアでの活動を考えていたので羽根は二人にひとつ用意した。そして羽根つきを説明するための準備物として、飾り物に使われている絵を入れた羽子板や、歌舞伎役者の絵を描いた羽子板、そして羽根つきをしている様子を示した絵を準備した。

3. 3 学習指導案

Lesson Title : Let's play Hanetsuki!!

Lesson Author : Shoko Fujimoto

Date : September 2010

Grade Levels : 4

Subject : Classroom Activity

Objective : Know the Japanese traditional play “ Hanetsuki” and try to play it.

Procedure

Activity	Instruction of teacher	Materials
1. Listen to teacher's explanation.	1. Explain Japanese traditional culture 、 especially Hanetuki.	• picture which introduce Japanese culture.
2. Draw pictures on the Hagoita and introduce other students. [My Favorite] • Basketball • Animals • Hamburger	2. Introduce Japanese Hagoita and let them draw picture on the Hagoita.	• picture of Hagoita. • Hagoita • colored pens
3. Try to play Hanetsuki.	3. Explain how to play Hanetsuki.	
4. Write and tell their impressions.	4. Listen to the students' notices and impressions.	• worksheets
5. Listen to the teacher's impression.	5. Talk about impression of the class.	

3. 4 授業の実際

授業の導入として、羽根つきをしている様子を描いた絵を見せた。これは何をしているところでしょうと言う質問に対して活発に意見が出た。その後、羽根つきがどのようなものであるか、どのような願いがこめられているかなどの説明をして本時の授業のタイトルを発表した。

そして実際に前で羽根つきをやってみせながら、羽根つきには2種類の遊び方があるということも説明した。

次に一人に一枚羽子板を配り、自分のオリジナル羽子板を作ることを説明した。羽子板に描く絵のタイトルは「My Favorite」に設定し、子どもたちはそれぞれ楽しそうに描いていた。子どもたちが描いていた絵の例として、以下のものがあつた。

Dog、Sea、Basketball、Baseball stadium、Love、Cherry tree、Wood、Soccer、etc...

このほかにも忍者の絵を描いている子や、日本語での書き方を聞いてくる子など日本への強い興味も感じられた。

次にペアを作って羽根を渡し、実際に羽根つきをして遊んだ。しかし、羽根が簡単に壊れてしまったり、ペアの確認が十分でなかったりしたため、羽根が足りなくなることもあつた。

最後に授業の感想を言って、子どもたちにも授業の感想や印象に残った点などを書いてもらい、授業を終了した。



写真1 絵を描いている様子

3. 5 考察

授業をしてみて、準備が甘かつたということ強く感じた。やはり、言葉が十分でない分、もっと念入りの準備が必要であつたと思う。説明や言いたいことがうまく伝わらない場面が多々あり、担任の先生にはとても助けていただいた。口頭での説明だけで伝えることが難しいのであれば模造紙に授業の流れやすることを書いておいたり、ホワイトボードをもっと活用したりするなどの手立ても必要であつた。また、難しい単語はそれをわかりやすく説明するための英語も知っておかなければならないと感じた。

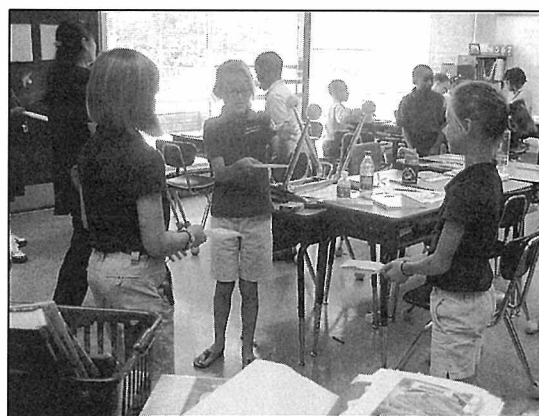


写真2 羽根つきをしている様子

さらに、羽根つきの説明をする際に、二人での打ち合いである「追い羽子」と一人で羽根歌を歌いながら突く「貸しっこ」という2種類の遊びを説明したが、一人での遊びも紹介したのであればやはり羽根も全員にひとつずつ準備しておくべきだったと感じた。そして羽根の強度の問題があつたのでそこも考慮に入れた上で用意しておくべきであつた。

しかし子どもたちはとても楽しそうに活動しており、本当はもっと活動の時間を短くして描いた絵や感想の交流をしたいと考えていたが、活動に多く時間をとったのは結果的に良かった

かなと感じた。子どもたちの感想にも楽しかったという意見は多く、日本の遊びや日本に興味を持ったというような記述も多くみられた。

4 体験型海外教育実地研究における自己変容

4. 1 教育観の変容

アメリカの子どもは積極的に発言し活発に活動するというイメージがあり、実際その通りであった。ほとんど知らないはずの日本についての質問をしても、間違いを恐れず積極的に発言する様子には驚かされた。また、中学生の授業を観察したときにも、自分で書いた物語や作文のようなものを積極的に発表しており、前に出て2分程度のスピーチのようなものをみんながやっていた。アメリカの子どもたちは小さいころからこのような訓練を受けることで、自分の意見を持ち、人前で話す力をつけていくのだろうと感じた。

Wahl-Coates Elementary School に行き、子どもたちみんなが礼儀がよく、思いやりがあるということを感じた。ドアをもってみんなが通るのを待ってあげたり、みんなが親切に案内してくれたりといったことからそれを感じたのだが、そのあと先生方や校長先生にお会いして話を聞いてそのような理由がわかった気がした。子どもたちがみんな優しさをもっており、良い子なのは、先生方が良いからであり、学校全体で子どもを育てているという印象をもった。

4. 2 自分自身についての変容

もともと、海外への興味は強かったが、アメリカへ行って、もっといろんなものを見たい、知りたいという気持ちが強まった。世界にはたくさんの国があり、様々な人やその暮らしがあるということを実感した。また、今回のアメリカでは、自分自身の意見をもつこと、失敗を恐れない積極的な態度の大切さを学んだ。また、うまく英語を話せなくても、大切なのは一生懸命伝えよう、理解しようとする姿勢だと感じた。

4. 3 グローバルマインドに関する変容

今回アメリカに行き、日本のことを紹介する機会をもつことで、自分が日本のことを知らなかったということを強く感じた。日本の伝統文化についても、今回調べてみて、初めて知ることが多かった。他国のことを学ぶのはとても大切なことであり、意義のあることだが、その前にもっと自国のことについて知っておかなければならないと感じた。

5 おわりに

今回の研修では多くのことを学ぶことができ、とても有意義なものとなりました。この研修を支えてくださった GPSC 関係の皆様にご心より感謝申し上げます。また、この研修が充実したものとなったのは、アメリカで私たちが快く迎えてくださった方々、そして一緒に参加した先生方や友人をはじめとした本当に多くの方々の支えがあったからであり、感謝しています。

この実地研究で学んだことをこれからの生活、そして教育現場で、生かしていきたいと思っています。本当にありがとうございました。